



福岡県医発第 1395 号 (総)

平成 18 年 10 月 20 日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 横 倉 義 武



厚生労働省が実施する「医療安全推進週間」について

本年度も 11 月 19 日 (日) ~ 25 日 (土) の期間を標記の「医療安全推進週間」と定め、厚生労働省主催で医療安全フォーラムの開催等を通じ、医療安全の啓発活動等を展開することとしている旨、日本医師会から別紙のとおり通知がありました。

医療安全対策については、本会といたしましても積極的に推進しているところではありますが、このような機会に更に認識を深め、医療安全対策の構築をしていきたいと考えておりますので、貴会におかれましても医療安全対策の推進について、ご高配方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 島田昇二郎



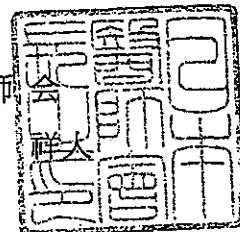


日医発第 730 号 (医安 25)

平成 18 年 10 月 6 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 唐澤



厚生労働省が実施する「医療安全推進週間」について

「医療安全推進週間」は、医療安全対策に関する組織的取組みの促進等を目的に、厚生労働省が平成 13 年 11 月に制定したものです。

実施期間は別紙のとおり毎年 11 月 25 日を含む 1 週間と規定され、今年度は 11 月 19 日 (日) ～25 日 (土) としております。

厚生労働省としても、この間、別紙に示す医療安全フォーラムの開催等を通じ、医療安全の啓発活動等を展開することとしております。

本会といたしましても、医療安全推進週間に限らず、医療安全体制の推進は喫緊の重要課題として、積極的な活動を今後も継続的に展開してまいり所存です。

貴会におかれましても、平素より諸種の医療安全対策に取り組まれていることと存じますが、医療安全対策の普及啓発運動が全国的に実施されるこの機会を活用し、貴会の活動をさらに展開していただきたくお願い申し上げます。

なお、本会といたしましては、医療安全対策の推進という趣旨から、本年も後援しておりますことを申し添えます。

また、例年配布しております厚生労働省作成のポスター、リーフレットにつきましては、本会に届き次第、貴会にお送りする予定ですのでご了承のほどお願い申し上げます。

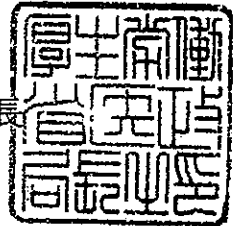


医政発第1004005号

平成18年10月4日

各後援団体の長
各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



平成18年度「医療安全推進週間」医療安全フォーラムの開催について

標記について、別添のとおり開催することとしたので、貴団体の医療安全の業務に従事する者並びに、職員、家族等への周知など、特段の配慮をお願いいたします。

問合せ先

医政局総務課医療安全推進室

指導係 福園、小川

TEL : 03-5253-1111 (内線2580)

Fax : 03-3501-2048

厚生労働省 平成18年度「医療安全推進週間」医療安全フォーラム 開催要綱

患者に安全な医療サービスを提供することは、医療における最優先事項です。

厚生労働省では、平成13年度から11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め、「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」の推進を図っています。その一環として、国民の皆様幅広く、医療安全に関する取組みをご紹介するために、このたび、どなたでも参加できる「医療安全フォーラム」の開催を企画いたしました。

ご関心をお持ちの皆様参加を心よりお待ちしております。

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール（758席）

日時：平成18年11月21日（火）午後1時～4時、22日（水）午前10時～午後5時

概要：21日（火）医療安全 国民シンポジウム

目的：患者、国民の主体的参加を得て、医療関係者の共同行動により医療事故防止の推進を図る。

対象：一般国民の皆様、並びに医療従事者の方等

内容：（予定）（1）「医療安全推進週間標語」の優秀作品表彰

（2）基調講演 夏川周介（佐久総合病院長）「地域ぐるみで医療安全」（仮題）

（3）パネルディスカッション

パネラー／夏川周介（佐久総合病院長）

三浦純一（公立岩瀬病院医局長）

安井はるみ（神奈川県看護協会医療安全対策課長）

中田郷子（MSキャビン理事長）他

（4）展示コーナー（医療安全に関係する団体による展示）

22日（水）医療安全ワークショップ・研究発表会

目的：医療安全対策に関する知識等の修得、討議等を行うことにより、特定機能病院の安全管理者等の資質向上を図り、もって医療の安全性の向上を図る。

対象：主として特定機能病院の管理者等並びに医療安全支援センター相談職員等（一般国民の皆様の傍聴も可）

内容：午前／医療安全に関するワークショップ（特定機能病院）

パネルディスカッション「医療事故に関する死因究明の在り方」

パネラー／山口徹（国家公務員等共済組合連合会虎の門病院長）

勝村久司（一般有識者）

鈴木利廣（弁護士）

（医療安全管理者）

佐原康之（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長）他

午後／研究発表会

研究テーマ及び報告者

・「処方せんの記載方法に関する医療安全対策の検討」

齋藤壽一（社会保険中央総合病院長）

・「国内外における医療事故・医事紛争処理に関する法制的研究」

藤澤由和（新潟医療福祉大学社会福祉学部助教授）

・「医療安全における患者参加の実践プログラムとその効果的教育・研修システムの開発研究」

橋本迪生（横浜私立大学医学部医療安全管理学教授）

・「安全な療養環境を構築するための物的対策に関する研究」

寛淳夫（国立保健医療科学院施設科学部施設科学部長）

・「ヒヤリ・ハットや事故事例の分析による医療安全対策ガイドライン作成に関する研究」

嶋森好子（京都大学医学部附属病院看護部長）

・「医療機関における安全管理体制のあり方に関する調査研究」

井部俊子（聖路加看護大学長）

・「医療品及び医療機器のコードを利用した安全対策とトレーサビリティ確保のためのシステム導入と効果に関する研究」

土屋文人（東京医科歯科大学歯学部附属病院薬剤部長）

申込方法：参加希望の方の氏名、住所、連絡先（電話、FAX、eメール等）、職業をご記入の上、下記宛に往復はがき、電子メール、FAX のいずれかでお申込下さい。

医療安全フォーラム運営事務局

医療ネットワーク支援センター 担当 一木（いちき）・清水

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-45-2 TEL 03-5333-4771 FAX 03-5333-4768

E-Mail info@medical-bank.org

参加費：無料

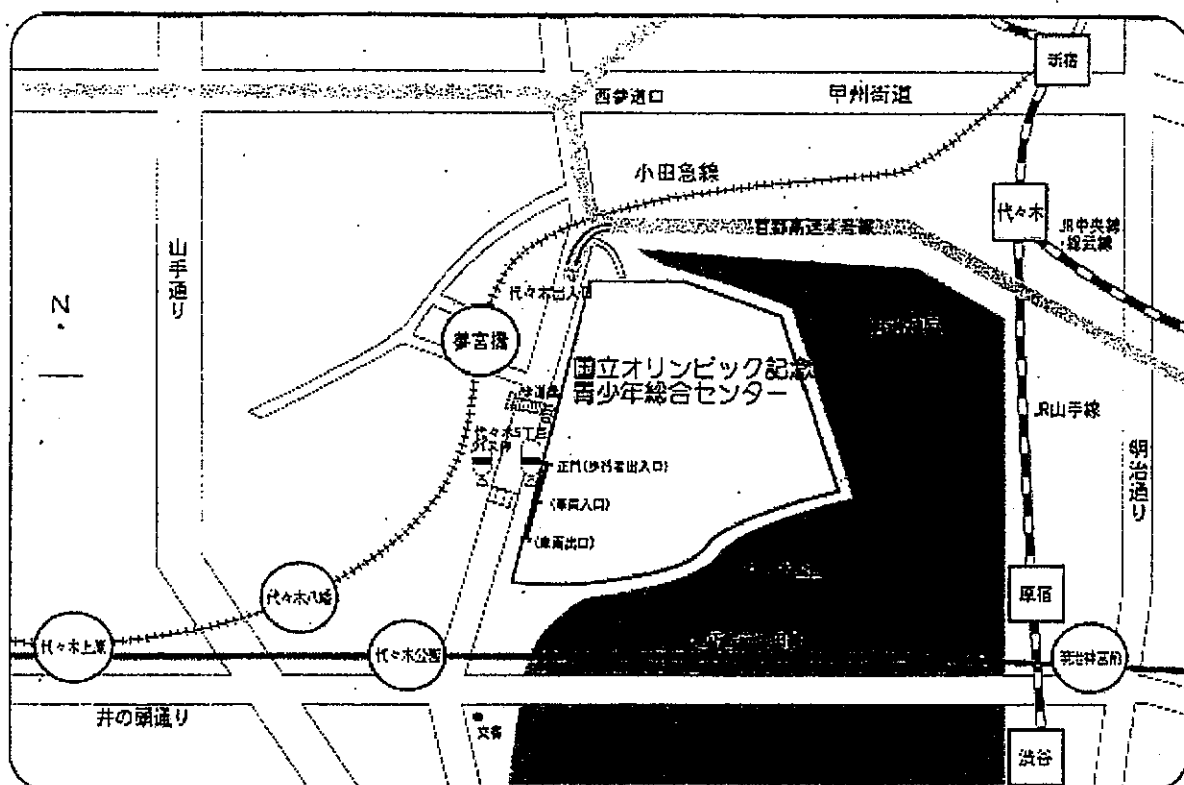
医療安全フォーラム 専用サイト：<http://www.medical-bank.org/anzen/>

主 催／厚生労働省

後援団体（予定）／文部科学省、各都道府県、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、社会福祉法人恩賜財団済生会、財団法人医療関連サービス振興会、健康保険組合連合会、財団法人厚生年金事業振興団、国家公務員共済組合連合会、財団法人船員保険会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国厚生農業協同組合連合会、社団法人全国社会保険協会連合会、社団法人全国自治体病院協議会、全国ビルメンテナンス協会、社団法人全日本病院協会、社団法人地方公務員共済組合協議会、社団法人日本医師会、社団法人日本医業経営コンサルタント協会、日本医療機器産業連合会、財団法人日本医療機能評価機構、社団法人日本医療法人協会、社団法人日本衛生検査所協会、社団法人日本看護協会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本歯科衛生士会、社団法人日本歯科技工士会、社団法人日本私立医科大学協会、社団法人日本精神科病院協会、日本製薬団体連合会、日本赤十字社、社団法人日本病院会、社団法人日本病院寝具協会、社団法人日本病院薬剤師会、社団法人日本放射線技師会、社団法人日本薬剤師会、社団法人日本臨床衛生検査技師会、社団法人日本臨床工学技士会、社会福祉法人北海道社会事業協会

厚生労働省「医療安全対策」ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/index.html>

国立オリンピック記念青少年総合センター 案内図



<主な交通機関>

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 東京メトロ 千代田線 代々木公園駅下車 (代々木公園方面出口) 徒歩約10分
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL 03-3467-7201(代表)

<http://nyc.niye.go.jp/>